

## 令和7年度 リカレント教育講座「目指そう細胞検査士・協働しよう臨床検査技師」

### 開催概要

「がん」は初期～早期の段階で発見することで完全治癒も期待できます。このような初期～早期の癌を自覚症状のない状況あるいは軽微な異変をきっかけに細胞レベルで検出する検査が「細胞検査（細胞診）」です。細胞検査を担う臨床検査技師が、学会認定試験を経て取得するのが細胞検査士資格です。がんのスペシャリストでもある細胞検査士の認定試験に合格するためには、日常業務の中で実践的に技術的側面から細胞診を学びながら、高度な専門知識を習得することが必要です。また、資格取得後も目まぐるしく進歩・変革していく医療情勢に敏感に反応し、多角的な専門知識に精通する必要があります。そこで、本講座ではがん医療に関する臨床検査と病理について考える講義と、細胞診標本を用いた実践的な鏡検実習を併せて実施し、知識・技術のインプット・アウトプットの連携を目指します。

### 第4回 「体腔液-3：腹水と消化器の病変」開催のご案内

#### 後援

新潟県細胞検査士会

新潟県臨床細胞学会

新潟県臨床検査技師会

令和7年度 第4回目のテーマは「腹水と消化器の病変」として、消化器癌を対象とした腹水細胞診を掘り下げます。胃癌、大腸癌、膵癌など、消化器・消化管に発生する癌の病期判定において、腹水細胞診の実施は欠かせません。腹水細胞診では、たとえ少数であっても腫瘍細胞を確実に検出することが重要です。腹水には腫瘍細胞を取り巻く炎症細胞、中皮細胞が多数存在し、これらの細胞と腫瘍細胞を鑑別することは時に難しいこともあります。そこで、今回のリカレント教育講座では、腹水細胞診に出現する消化器・消化管の癌細胞を確実に検出するための観察・判定ポイントを解説していただきます。併せて、解説いただいた細胞診標本について、十分なディスカッションを交えながらの鏡検実習を行います。

以下、実施要領に則り、腹水中の腫瘍細胞の検出・判定に役立つ細胞像の見方について学びます。

#### 実施要項

日時 令和8年3月15日（日）13:00～16:00

場所 新潟大学医学部保健学科 病理系実習室（E棟1階）

#### プログラム

受付 12:30～

講演 13:00～14:00 「腹水と消化器の病変」

講師：川口 裕貴恵 先生

（新潟大学医歯学総合病院 病理部臨床検査技師/細胞検査士）

□ 休憩	14:00～14:15	
□ 実習	14:15～15:45	「腹水と消化器の病変」 鏡検および討論・解説
□ アンケート回収	15:45～15:55	(新潟大学医学部保健学科 須貝 美佳)
□ 閉会	16:00	

### 参加対象

- 病理検査業務に従事される臨床検査技師。
- 病理関連業務に従事し、これから細胞検査士資格を取得予定の方。
- 細胞検査士として病理検査業務に従事しながら、さらに知識・技術を定着させたい方。
- 消化器癌をはじめとするがん医療、病理検査にご興味のある臨床検査技師。
- その他、看護師、診療放射線技師、医師など医療従事者の方々

**参加費** 無料

**募集人数** 15名

**お申込み方法** <https://forms.gle/qoxHskazTNLu4sD7A>

または 右の QR コードよりお申込みください。



**申し込み締め切り** 令和8年3月10日（火）

尚、令和9年度も引き続き多彩なテーマをご用意して開催を予定しております。

ぜひご参加ください。

**お問合せ先** 新潟大学医学部保健学科 検査技術科学専攻 須貝 美佳

TEL 025-227-0937

e-mail msugai.clg@niigata-u.ac.jp